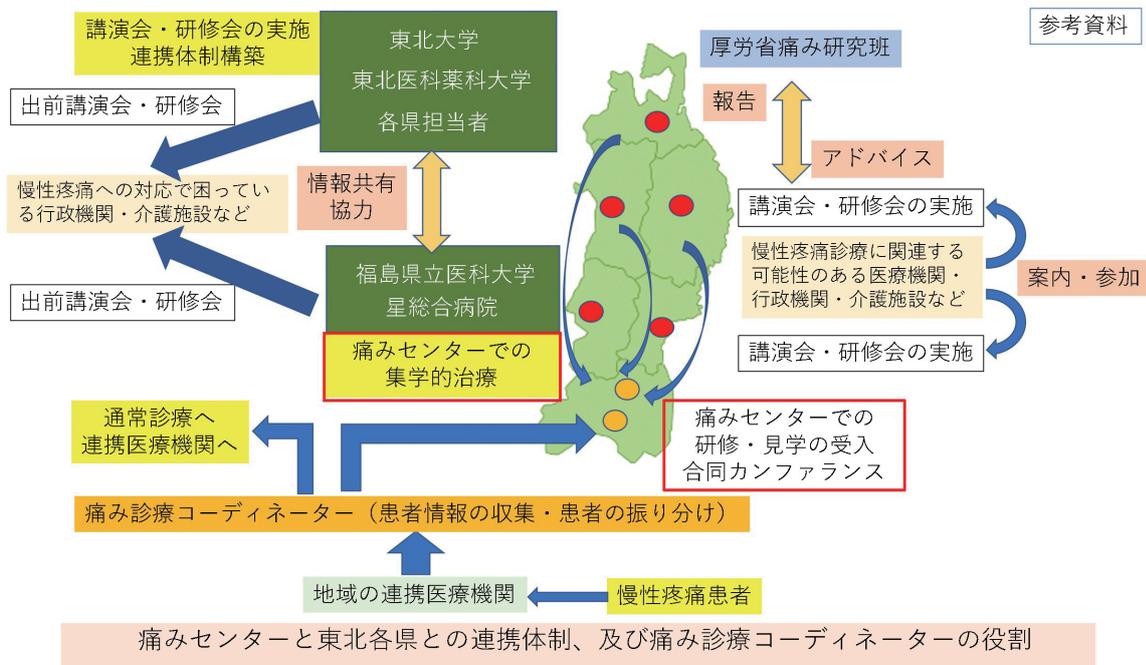


厚生労働省 令和2年度 慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業について

令和2年度4月より、「厚生労働省 慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業」という新事業が開始されました。この事業は、平成29年度から令和元年度の3年間に実施された「厚生労働省 慢性疼痛診療体制構築モデル事業」で構築した診療連携モデルを活用して、痛みの診療について実践可能な人材の育成を行い、地域の医療提供体制へ慢性疼痛診療をさらに普及し、かつ拡大していくための事業です。福島県立医科大学医学部疼痛医学講座では、昨年度までの事業に続き、この新事業にも採択され、東北6県の協力者(表1)とともに研修会・講演会等を通して慢性疼痛の理解と人材養成を促す活動を実施いたしました。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため、WEBでの事業実施が主となりました。初めての試みのため、参加者の皆様にもご迷惑をおかけする場面もありましたが、多くの方に参加のお申し込みを頂けたことに感謝申し上げます。今後は、安定したWEB講演会・研修会の実施と、遠隔地でも患者診療体制や人材養成が可能となるようなハード面での体制も整え、強固な連携実施環境づくりにも取り組んでいきたいと考えております。

【令和2年度 慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業構想】



(表1) 【令和2年度 モデル事業 東北地区各県協力者(代表幹事)】

青森県	八戸市立市民病院	整形外科	沼沢 拓也 先生
岩手県	岩手医科大学	麻酔科	大畑 光彦 先生
宮城県	仙台ペインクリニック	麻酔科	伊達 久 先生
	東北医科薬科大学	整形外科	小澤 浩司 先生
	東北大学	麻酔科	山内 正憲 先生
秋田県	秋田大学	麻酔蘇生疼痛管理学講座	
			新山 幸俊 先生 木村 哲 先生
山形県	山形大学医学部附属病院	疼痛緩和内科	山川真由美 先生
福島県	福島県立医科大学	整形外科	矢吹 省司 先生
		疼痛医学講座	
		疼痛医学講座	高橋 直人 先生
		星総合病院慢性疼痛センター	
		整形外科	二階堂琢也 先生